



9 月うぶやま天文台星空情報 4

今年 5 回目の 月面Xを見よう



天空が広がるうぶやまの高原は、厳しい残暑も終わり、秋の気配を感じさせる高原の涼しい風が吹いています。宵の西空には夏の星座が見え、それを追いかけるように秋の星座が東から昇ってきます。

今回は、8 月 1 日に続いて 5 回目となる「月面X」の紹介です。月面Xとは、上弦の月の頃、月の明暗の境に「X」の文字が浮かび上がる現象です。プランキヌ・ラカイユ・ブルーバツハという3つのクレーターの壁によって創られた地形で月面の暗い所に浮かび上がります。今回は 9 月 29 日で、時間帯は 18 時 20 分から約1時間ほどの短い時間です。今年は今回も含めて後 2 回観察できます。



月面『X』



月面Xと月面LOVE

最近、月面に上弦の月の頃、「X」、「L」、「O」、「V」、「E」の文字が浮かび上がる月面Xや月面LOVEと呼ばれる現象が話題になっています。

上弦の月の頃、月面の欠け際に太陽光線の当たり方関係でクレーターの壁が作る模様が文字のように見えます。

月面Xは 2004 年にカナダのアマチュア天文家が発見して以来話題になりました。月面の3つのクレーター(ラカイユ、ブランキヌ、ブルーバッハ)の壁が作る地形に太陽光線の当たり具合で「X」の文字が浮かび上がります。上弦の月の時しかみられないのですが、月が「秤動」という微妙な動きをしているので、上弦の月の時でも見られないこともあります。今年は 6 回みられるようです。

また、2018 年 3 月に愛媛県の実験愛好家竹尾昌さんによって月面「LOVE」が確認され、また撮影されました。この月に米航空宇宙局 NASA の「今年の実験写真」にも選ばれました。2025 年には 6 回これらを観察することができます。観察には天体望遠鏡が必要になります。天文台の大型望遠鏡で見ると迫力があります。